

cloud-all クラウドーる 連載 5th

大塚商会のサブスクリプションビジネスサポート

クラウドーるで、課金ビジネスを始めよう!

大塚商会BP事業部は、パートナー様のサブスクリプションビジネスを支援するコマースプラットフォーム「クラウドーる: Cloud-All」の運用を提供している。各種のクラウドサービスの契約や管理ができる「クラウドーるコマースプラットフォーム(以下CCP)」は、エンドユーザー様向けECサイト(クラウドサービスストア)とパートナー様向けサイト管理機能を融合させたコマースサイトだ。今回は、新たに取り扱いを開始したセキュリティ対策に役立つ商材を紹介する。

クラウド時代のモバイル活用に必要なセキュリティ対策

少子高齢化による労働力不足を補うための課題として、エンドユーザー様には新しいワークスタイルの導入から運用までが求められている。なかでも業務効率を高めるためのIT活用として、モバイルデバイスとクラウドサービスの導入は、パートナー様にとって避けて通れない重要な提案事項だ。クラウド時代のモバイル活用は、クラウドで提供される業務アプリを導入することはもちろん、セキュリティについての対策が必要不可欠といえる。そこで今回は、クラウドーるに追加された、セキュリティ対策に役立つサービスを紹介したい。

まず、一つ目は、マイクロソフトのEnterprise Mobility + Security(以下、EMS)。このEMSは、「いつでも、どこでも、どのデバイスでも!」をキーワードにエンドユーザー様の生産性とセキュリティを両立させてくれるソリューションだ。具体的には、ユーザー認証から、デバイス、アプリ、データといった4つのレイヤーを適切に管理、保護するサービスをクラウドで提供する。

例えば、現在問題となっている標的型攻撃に対しては、通常と異なるユーザーのふるまい、疑わしいアクティビティ、既知の悪意ある攻撃などのセキュリティ問題を即座に検出してくれる。また、アプリケーションやメール、ファイルといった会社のリソースへのアクセスを、あらか

じめ指定したポリシーに基づく条件付きアクセスで制御できるため、経営者やシステム管理者の不安を解消してくれるのだ。さらに、任意のデバイスからクラウドやオンプレミスのWebアプリに1回でサインインできる「シングルサインオン」を実現するため、利用者は複数のIDを使い分ける煩雑さからも解放される。少ない初期投資コストで、素早く展開できるEMSを、ぜひご提案いただきたい。

モバイルデバイスをセキュアに使うクラウドのストレージサービス

モバイルデバイスの普及により、クラウドで提供されるストレージは、便利なサービスとしてビジネスに活用されている。例えば、携帯電話やタブレット、ノートPCといった複数のデバイスで作業する場合でも、同じアカウントから作業データにアクセスすれば、どこにいても作業を続行でき、変更した内容はすべてのデバイスで更新される。また、万が一、デバイスを紛失した際にもモバイルデバイスからデータが漏えいする心配がないという点でも

評価されている。

いくつかの代表的なストレージサービスのなかでもマイクロソフトが提供するOneDriveは、最大5GBまで無料で利用できるサービスとして知られている。マイクロソフトのOffice製品との親和性が高く、ローカルのストレージと同じ感覚で使えることはもちろん、WordやPowerPointなどの使い慣れたデスクトップアプリを使ってリアルタイムな共同編集もできる。こういったシームレスな使い方は、今後のワークスタイルに欠かせないだろう。

OneDriveは、強固なセキュリティ機能がエンドユーザー様からも高く評価されているが、使い込むうちに、無料で利用できる容量に不安を覚える場合がある。そこでお勧めしたいのが、OneDrive for Businessだ。通常のOneDriveは、MicrosoftアカウントまたはOutlook.comで設定できる個人用のオンラインストレージサービスであるのに対し、OneDrive for Businessは、業務用のオンラインスト

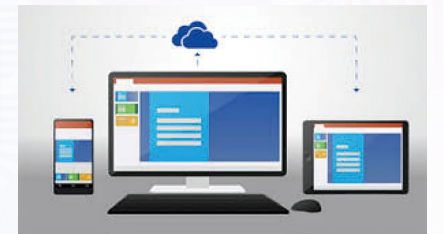
レージとして提供されている。その違いは、よりセキュアな環境で安心して作業が行えることだ。使用するストレージは、組織ごとに管理されており、同僚とドキュメントの共有や共同作業を安心して行える。

OneDrive for Businessで選択できるプランには、2種類あり、容量とセキュリティ機能に違いがある。プラン1では、利用者一人につき、1TBストレージ利用なのに対し、プラン2では、5人以上の契約で、初期容量として5TBが割り当てられ、必要に応じて容量が無制限に追加できる。さらに高度なセキュリティ機能とコンプライアンス機能も利用可能となっている。ちなみにOffice 365 Business Premiumには、オフィスアプリケーションのほか、OneDrive for Businessのプラン1が含まれている。

「クラウドーる」でパートナー様のソフトウェアビジネスをサポート

日本のソフトウェアライセンスの販売モデルは、ダウンロード提供による月額

OneDriveでいつでもどこでも同じ作業ができる



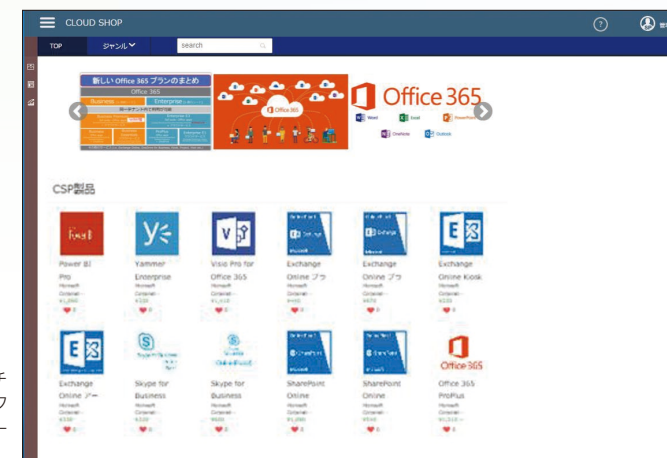
すべてのデバイスから簡単にファイルを保存してアクセスできる。また、オフラインで編集した内容も、次回接続時に自動的にアップロードされる。

課金であるサブスクリプションモデルへと変化している。このサブスクリプションは、サービスの調達や運用にさまざまなメリットがあり、エンドユーザー様の認知や理解も広がっている。例えば、ライセンスを調達する際に、必要な数や期間にあわせて購入できる運用メリットや、初期の設備投資が比較的安価に抑えられ利用コストも経費計上できるなどの費用メリットだ。

しかし、使った分だけ請求が発生する従量制の課金サービスでは、課金確認やライセンス管理が非常に煩雑となり、書類によるアナログの管理方法では、事実上、管理できないといった課題があった。そこで大塚商会では、さまざまなサブスクリプションの管理を取りまとめるコマースサイト「クラウドーる」を構想し、マルチベンダーによるサブスクリプションサービスを一括して提供するCCPを推し進めている。今後もこのCCPには、随時新しい機能や商材が追加される予定だ。

ぜひパートナー様には、CCPをご活用いただき、ソフトウェアビジネスを最大化していただきたい。**BP**

◆クラウドーるコマースプラットフォーム(CCP)



CCPは、将来的にマルチベンダーによるサブスクリプションサービスを一括提供する予定だ。

クラウドーる:Cloud-Allの
お問い合わせは、こちら

TEL : 03-3514-7777 MAIL : cloud-all@otsuka-shokai.co.jp